

統一という名の独立

1972年7月4日。

今日から50年前、北南合同声明が発表された。

共同宣言には**自主・平和・民族大団結**という祖国統一の3大原則が記され、これまで北南が合意したすべての統一に向かう文書にこの原則が貫かれているなど、**7.4北南共同宣言**は深い歴史的意義を持つ。



—単独選挙と南北連席会議

1948年5月10日、UN主導のもと、行われた「単独選挙」によって8月15日「大韓民国」が樹立され、李承晩が大統領となる。「親日派」はよみがえり、「国会議員」の座に腰を下ろした。

48年4月、56の政党・社会団体代表の参加のもと、南北連席会議が開かれた。提案されたのは、単独選挙の反対、米ソ両軍の撤収、全朝鮮的政府の樹立、である。9月9日には共和国が樹立され、南北代表の代議員が選出された。スローガンはもちろん祖国の統一である。続く49年6月、南北71の政党・社会団体を網羅した祖国統一民主主義戦線が結成される。祖国統一と完全な独立、米軍の撤収と民族反逆者への反対、南朝鮮人民委員会の復活、獄中にいる愛国者の釈放、南北総選挙と統一的立法機関の創立などが提案された。

—独立への志向

この歴史の中で生きた民衆たちの声に耳を傾けてみよう。南へのアメリカ軍駐屯に対して、朝鮮民衆は黙っていなかった。すぐさま反対の声あげた。済州4.3事件や麗順（麗水・順天）軍人蜂起、南におけるゲリラ闘争はその最たる例であろう。そしてそれらは最たる例ではあってもすべてではない。済州島の住民30万人中3万人、麗順では8千人、1949年まで11万を超える人民が虐殺された。

その理由は何だったのだろうか。彼（女）らが「独立」を志向したからに他ならない。外勢による圧力、利権と利権が重なり合う角逐の場で、朝鮮人民は「分断」を強要された。この時代を生きたからこそ、朝鮮人民は独立統一を志向したのだ。

—二つの朝鮮戦略

アメリカは、米ソ冷戦が本格化され新しく形成されていった共産圏への対抗措置としてニクソン・ドクトリン（Nixon Doctrine）を打ち出した。大国との「平和的共存」を標榜する一方、小国や分裂した国々に対しては現状維持を狙った。またも大国アメリカの国益のために朝鮮半島は矢面に立たされる。「二つの朝鮮」政策の出現である。アメリカが覇権拡大のための大国またはそれに追従する国々との新たな関係を構築し、アメリカを中心とする世界の戦略的再編成が完成されると、南朝鮮が「実力培養」を通じて「北進統一」を実行できるようになる。それまで、朝鮮半島の分断状況を固定する。これが「二つの朝鮮戦略」である。

—なぜ『朝鮮』なのか、再度問う

「独立」（統一）はそれを阻む勢力との闘いを抜きに勝ち取れるものではない。現にいまなお植民地から「解放」されたはずの朝鮮半島で起こった戦争は終結をみていない。「独立」とは「国際社会」の承認のもとでのみ自国の存在を許される秩序、これの解体である。

この「独立・統一」こそ共和国の建国理念（連席会議の基本）である。

なるほど、このような共和国が「野蛮」に見え「脅威」に見えるのは至極当然かもしれない。しかし、止むことのない「暴力」のなか、共和国は今日もかわらずこの道を進んでいる。胸のすく思いだ。



独立＝統一という志向と理念のもと、団結してきた民衆たち。そしてそこにはもちろん在日同胞もいる。

この実現のために汗を流し、強い統一祖国とともに生きようとした在日同胞たちにとって、『朝鮮を問う』ことはすなわち、『統一を問う』ということと同意であった。



—『繁栄する祖国・同胞たちの幸せ』

同胞第一主義、同胞たちの幸せ。このような崇高なスローガンのもと、在日朝鮮人運動の一端を担う我々もまた、いつもこのような歴史的問いの中でブレずに生きている。祖国の「繁栄」は、在日同胞に「第二の解放」を迎える転換点を間違いなく与えることになる。

99年前、同胞たちは「朝鮮人」という理由だけでいわれのない虐殺を甘受した。（関東大震災時大虐殺）

「4.24教育闘争」時、在日同胞が対峙した相手は「軍隊」だった。（日本において民衆の弾圧に軍隊を動員した例は沖縄を除けば4.24だけである）

今日の「高校無償化」や「幼保無償化」問題が垣間見せる日本の朝鮮人にたいする眼差しは、このような思想レベルでの「植民地」が、未だ連綿と続いていることの証左であろう。



祖国統一のために何をするのか。連帯や交流だけが統一事業ではない。このような歴史を学び、在日としてのプライドと節操を持つことのできる民族教育もれっきとした統一事業である。

その中で、『新時代・魂！』のスローガンをかかげ、同胞たちと子供たちの未来のため、奮闘する我々も今一度、自分たちの運動の原点に立ち返り、ブレずに青商会事業を盛り上げていきたい。

情勢も厳しく、前が見通せない状況の中であるからこそ、その未来に向かい未来を創る青商会の姿を全国各地で作っていきたいものである。

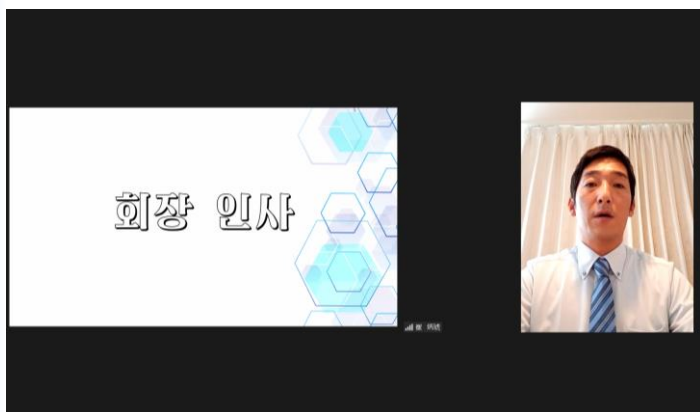
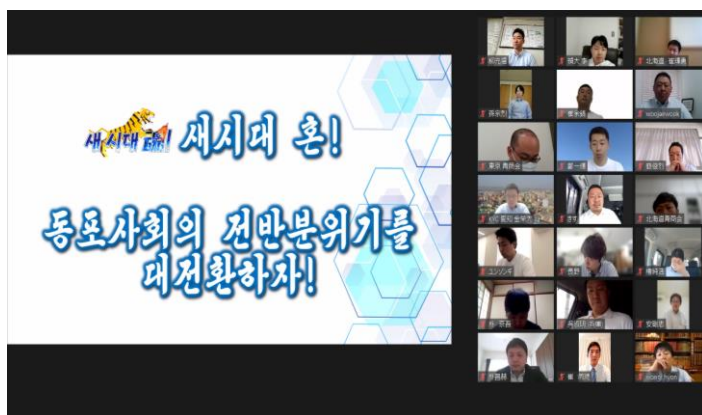
中央幹事会第25期第2回会議開催

2022年7月23日(土)、昨今の新型コロナウイルス爆発的感染状況を鑑みて全リモート方式で中央幹事会第25期第2回会議が開催されました。

会議では、今期の〈新時代・魂〉のスローガンを胸に全国で創造された貴重な成果を共有し、青商会の役割を再確認する場となりました。

《하면 된다》, 25期の成果はこの言葉を裏付けるものでした。

会議では、来期までの経済部・民族教育支援部事業が発表され、株式会社アクシズ李樹明運営委員長が任命された他、ウリ民族フォーラム2022の説明が行われました。在日本朝鮮青年商工会第26回中央総会が9月17日、東京にて招集されることが全会一致で採択されました。



> 全国の青商会活動をご紹介 > NEWS

静岡県青商会

📅 7/20 📍 某所



#社会見学

静岡青商会では、会員が勤める企業で静岡ハッキョ学生が社会見学を開催しました。会員が勤める福祉事業団より講師をお招きして学生たちへの講演会も行いました。

#社会科見学 #ユニボ #福祉講演会 #SRG



いいね! コメント シェア

京都府青商会

📅 7月初旬 📍 某所



#地方自治体への貢献

5月に行った第22回京都府青商会チャリティーゴルフ大会《ミレCUP2022》の収益金から京都市教育委員会を通して、伏見区桃山にある呉竹総合支援学校様へスポーツ用車いすを寄贈しました。

#ミレCUP #自治体貢献 #車椅子寄贈 #団結! 京都府青商会!



いいね! コメント シェア

山口県青商会

📅 7/23 📍 ZOOM



#マッチングイベント

『マンナミー』さんとのコラボで山口県青商会初のオンラインマッチングイベントを開催しました。今後も参加者へのサポート、第二回開催など継続していきたい行事となりました。

#マンナミー #オンライン #マッチング



いいね! コメント シェア

滋賀県青商会

📅 7/22 📍 滋賀ハッキョ



#学生たちへ差し入れ

滋賀青商会ではキャンプを行った滋賀ハッキョの高学年・低学年の子供達へスイカの差し入れをしました。

今後も滋賀青商会は子供達の為に活動して行きます!

#笑顔 #スイカ割り #アクション&コネクト



いいね! コメント シェア

宮城県青商会

📅 7/4 📍 ウリ信用組合東北支店



#コリビジin東北

ALL東北プロジェクト企画であるコリアンビジネススクール2022in東北が開催されました。今年のコリビジは宮城会場からZOOMを使ってWEB配信し、会場とWEB視聴者含め東北各県の青商会会員が参加しました。

#ALL東北 #コリビジ



いいね! コメント シェア

愛知県青商会

📅 7/3 📍 愛知県某所



#チョンサンフェスタ

コロナのせいで延期になっていたチョンサンフェスタ。生活文化部が中心となって開催されたフェスタは約50名が参加し、ボーリング、ビアガーデンなどで会員交流が活発に行われました。

#チョンサンフェスタ #会員交流 #オール主人公



いいね! コメント シェア